

令和2年度「清瀬教育の日」

清瀬教育の日とは…

清瀬市教育委員会では、市民の皆様とともに清瀬の教育を見つめ直し、子供たちの育成について考える日として、毎年10月の第3週木曜日から土曜日までの3日間を「清瀬教育の日」としています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、残念ながら「清瀬教育の日」における学校公開を中止としています。そこで、教育委員会や各学校において、今年度どのような取組を行っているのか本ホームページにて情報発信をします。

「教育総合計画マスタープラン」の方向性に係る教育委員会・学校の取組について

教育総務課【学校の安心・安全を支える】

○方向性11「教育環境の整備」

新型コロナウイルス感染症対策として、石けん、消毒液等の感染症予防対策品を各校へ配布し、子供たちの感染症拡大防止に取り組んでいます。

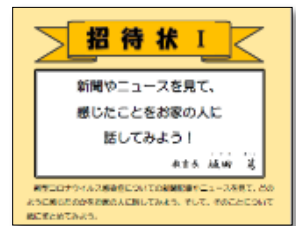
また、給食の時間の配膳方法なども学校と検討し、安全を確保して毎日おいしい給食を提供できるよう工夫しています。



指導課【「教育を止めない清瀬」を実現し、子供たちの「未来を生き抜く力」を育む】

○方向性7「『確かな学力』の育成」

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン等を作成し、各校で新型コロナウイルス感染症対策が講じながら日々の教育活動を行えるよう取り組んでいます。また、臨時休業中の時間を活用しての企画「教育長からの招待状」を実施しました。たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。



生涯学習スポーツ課【With コロナ・世代を超えて交流できる場の提供】

○方向性1「市民ニーズに応じた生涯学習活動の支援」

With コロナ時代、スポーツイベントも感染症対策を行いながら再開しています。9月には第14回清瀬市ティーボール大会を開催しました。開会式等は行わずに、例年とは違った雰囲気でしたが、一般の部は前年の倍の10チームの参加がありました！今後も工夫をしながら楽しいイベントを企画していきたいと思います。



図書館【図書館を市民の皆様にとってより身近な存在にする】

○方向性8「学びへの関心や意欲を高めるための教育の推進」

返却された図書は、専用の除菌液で表紙・裏表紙を清掃したうえで、頁に付着したウイルスの不活性化を待ち、1日以上時間をおいてから書棚に戻しています。

市内の各図書館で10月15日から11月15日まで、図書館事業「子ども読書スタンプラリー」を実施しますので、皆さまぜひご参加ください。



博物館【専門機関としての機能を高める】

○方向性13「清瀬の文化や歴史を深く学ぶことのできる機能の強化」

博物館では、安心して安全に館内を見学していただくために、新型コロナウイルス感染症対策としてのガイドラインを設け、館内に掲示して啓発を行っています。また特別展ではソーシャルディスタンスを保ち、人が密集した場合には、入場制限などの措置を講じています。



清瀬小学校 【総合的な学習の時間「目指せ☆はちマスター」】

○方向性 13「清瀬の文化や歴史を深く学ぶことのできる機能の強化」

○方向性 16「地域の力を学校に生かす仕組みづくりの推進」

本校では、5年生が総合的な学習の時間に「蜂」を学習教材に、探究学習を展開しています。「なぜ清瀬小学校には、蜂が多いのだろう。」、このような会話から始まった総合的な学習の時間。「自分たちの『？』を解決するためには、どうすればいいのだろう。」まずは自分たちで蜂についての知識をもち、それから市役所の「蜂蜜づくり」に関わっている方にインタビューしよう。」ということになりました。国語で、相手が話したくなるインタビューのコツを学び、それを生かしながらインタビューをしました。市役所の営繕係の方をお招きしてインタビューをしてみると、清瀬市には自然がいっぱいあることに気付きました。そして、清瀬市のよさを他市にもっとアピールしたいという思いになりました。今、子供たちは、「わが町 清瀬」をどのようにアピールしようか検討中です。



芝山小学校 【自学力・言語力・かかわり力】

○方向性 7「『確かな学力』の育成」

芝山小学校では、育成すべき資質・能力を「自ら考え、進んで取り組む力」(自学力)、「よく読み、よく書く力」(言語力)、「他者とかかわる力」(かかわり力)としています。その中でも今年度は「言語力」の育成に力を入れています。毎月季節ごとに選ばれた詩を、昇降口正面の掲示板に大きく掲示しています。また、毎月学年ごとに全児童が俳句を創作し、その中から校長賞、副校長賞、学年賞を選んで、学校だよりで紹介しています。

「自学力」の育成では、高学年が「自学ノート」をつくり、教師から出される宿題ではなく、子供たちが自分で決めたテーマに基づいて家庭学習に取り組んでいます。「かかわり力」の育成では、芝山小の伝統である縦割り班活動を行って、下学年が上学年の姿を見ながら学んだり、異学年の交流を通して互いを思いやる心を育成したりしています。



清瀬第三小学校

【思いや考えをもち、書くことができる子の育成】

○方向性 7「『確かな学力』の育成」

今年度より、校内研究で「自分の思いや考えをもち、書くことができる子」をテーマに、国語を中心に研究を進めています。授業の中で、考えたことや思ったことを書き、ペアやグループで交流して、さらに考えを広げたり、深めたりします。



【地域と連携した出前授業】

○方向性 16「『地域の力』を学校に生かす」

三小学校支援本部のコーディネートにより、「清瀬の自然を守る会」の皆様にご講師をお願いして、松山緑地で、自然について学ぶ学習に取り組んでいます。7月には、1年生の生活科で草木を使った「ネーチャーゲーム」を、3年生の理科で昆虫の種類や生態、見付け方を教えていただきました。



清瀬第四小学校 【「新しい生活様式」の下で“豊かな学び”を！】

○方向性 8「学びへの関心や意欲を高めるための教育の推進」

新しい学校生活のきまり「四小のきまりプラス」を子供たちみんなが守り、感染症対策を行った上で、退職教員の協力による自然体験・観察活動(全学年)、東京地方検察庁の検察官を招いた模擬裁判の授業(6年)、企業の協力による建設業体験授業(5年)など、全ての学年で外部人材を活用した多様な教育活動を展開しています。

小学校は、生涯に渡る“学び”の基盤をつくる時。これからも、子供たちが実物・本物に直に触れ、驚きや感動をもって感じ・気付くことを大切に、子供一人一人が自ら深く考え豊かに学ぶ機会の充実を図っていきます。



清瀬第六小学校 【こころの教育の充実】

○方向性9「豊かな心と撓（しな）やかで強（した）かな心の育成」

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、物理的な距離を保つため、今までのような関わり合いが難しい場面も多くなっています。

そんな今だからこそ、六小では、心の触れ合いも大切にしていきたいと考えます。子供たちの豊かな心を育む道徳授業もその一つです。

清瀬教育の日では、全校一斉の道徳授業を行います。（授業公開は行いません。）また、学校支援本部主催の保護者・地域向け講座「六小土曜講座」として、本校教員を講師に、「こころの教育講座『道徳教育って何だろう』」を開催します。



清瀬第七小学校 【家庭と学校の連携を強める教育活動 ～家庭が育つ、子供が育つ、学校が育つ～】

○方向性5「家庭の教育力向上のための普及・啓発」

○方向性7「確かな学力」の育成

七小ではコロナ禍に、学校で行うことと家庭でできることを明確化し、家庭との連携を強める教育活動を重視しています。学校での出来事や教育理念の共有を図るため、学校ホームページや学校・学年だよりなどをフルに活用して情報発信や啓発を進めています。

また、確かな学力の育成を目指し、特に算数科では2学級を4グループに分けた少人数指導や学習内容を子供たちが選ぶ選択制授業を積極的に推進しています。

清瀬教育の日の取組は、学校ホームページでお伝えします。



清瀬第八小学校 【表現運動の取組～学年全員の気持ちを一つに～】

○方向性10「運動習慣の確立による体力の向上」

本来ならば10月24日に開催される予定だった運動会に代わる取組として、現在、各学年で表現運動の練習に取り組んでいます。

日々の授業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、安全対策を講じて取り組んでおります。表現活動の取組は、このコロナ禍において、児童が学年全員で心をつにして一つのものを創りあげる貴重な活動となります。完成した演技は録画して他学年児童と相互に鑑賞します。3学期保護者会の際には保護者の皆様にもご覧いただく予定です。



清瀬第十小学校 【ICTを活用した外国語授業】

○方向性8「学びへの関心や意欲を高めるための教育の推進」

十小では、ICTを活用して児童のコミュニケーション力を向上させるため、AIと英会話の学習ができる英語学習支援アプリを、6年生の外国語の学習に導入しています。

子供たちは実際に外国の人と話している時のように、自分の伝えたいことを表現しようと頑張っています。「AIは発音がいいので、私も頑張りたいです。」

「AIとの会話が英語で通じた時の達成感がすごかったです。」「英会話がたかさんできて楽しかったです。」など、学習意欲の向上にも役立っています。



清明小学校 【パワーアップタイムの実施】

○方向性7『確かな学力』の育成」

全学年でパワーアップタイムを設定し、算数の基礎的・基本的な学習内容の定着を図っています。学年を6グループの少人数に分け、教員の他 NPO 法人BOON様に協力をいただき実施しています。少人数で取り組むことでたくさん褒められ、できるようになる喜びを実感しています。



【コーディネーショントレーニングの活用】

○方向性10「運動習慣の確立による体力の向上」

本校は、脳・神経・筋肉等の調和的発達を促進し、体力向上を図ることが期待されるコーディネーショントレーニングの東京都地域拠点校となっています。

体育の授業や全校朝会、休み時間などに取り入れ、子供たちの体力向上に取り組んでいます。



清瀬中学校 【道徳授業地区公開講座】

○方向性4「保護者への様々な学びや交流の場の提供」

○方向性9「豊かな心と撓（しな）やかで強（した）かな心の育成」

○方向性16「地域の力を学校に生かす仕組みづくりの推進」

清瀬中学校では、毎年「清瀬教育の日」前後に道徳授業地区公開講座を実施しています。

会場には、毎年、来ていただいている地域の方もいらっしゃいます。

今年は公開という形では実施できませんが、学校と保護者、地域の皆様の堅い絆の場でもあります。今後も、学校、家庭及び地域が一体となって子供たちの豊かな心を育むとともに、道徳教育の充実に取り組んでいきます。



清瀬第二中学校

【通学路に「青空通り」との愛称を付け環境整備を目指します。（生徒会活動）】

○方向性9「豊かな心と撓（しな）やかで強（した）かな心の育成」

本校生徒会が考えた本年度の活動スローガンは、「飛躍 ～活動の発展と地域貢献～」です。

具体的な活動としては、普段、通学路として生徒たちが利用している市道に親しみを込めて名前を付けようと、全校生徒から案を募集し、「青空通り」という愛称を付けました。

このことを契機として、ごみ拾いや草取りなどの整備を行い、生徒だけでなく地域の方々にも道路に愛着をもって頂き、明るいイメージの街づくりを清瀬第二中学校から発信していくことを目指しています。



清瀬第三中学校 【生徒会役員選挙】

○方向性9「豊かな心と撓（しな）やかで強（した）かな心の育成」

清瀬第三中学校では、生徒会役員の選出を例年9月中旬に選挙にて行います。各候補者がより良い学校生活を送るためにどのような活動が必要かを考え、生徒（有権者）に訴えかけます。生徒はどの候補者に託すことができるかしっかりと見極め、投票を行います。

例年は定数通りの立候補で信任投票となることが多かったのですが、今回は立候補者が多数いたため選挙が行われました。どの候補者もコロナ禍において学校行事が減少し、代わりとなる活動ができないかというところが選挙戦のポイントになっていました。



清瀬第四中学校 【道徳科を中心とした命の教育の充実 ～命の尊さについて考える～】

○方向性9「豊かな心と撓（しな）やかで強（した）かな心の育成」

豊かな心と撓やかで強かな心の育成のためには、自らの命を大切にし、自己肯定感を育むことが源となります。道徳科の授業において、命の尊さについて考えました。1年生は、谷川俊太郎作、詩「生きる」を読み、自分にとっての「生きる」を考え、クラス独自の「生きる」という詩を作りました。2年生は、生まれる命、事故によって奪われた命、病気によって間もなく結ぼうとする命、どれも同じ大切な命…と、思いを巡らせました。3年生は、生誕後三日間しか生きられなかった子のご両親が描いた絵本「パパとママのたからもの」を題材にし、たった三日間でも親として精一杯の愛情を注いだ気持ちから命の尊さについて考えました。



清瀬第五中学校 【「教育を止めない五中」を目指して】

○方向性7「『確かな学力』の育成」

○方向性11「教育環境の整備」

本校では、休校期間中に「You tube」を使用した授業配信や各教科工夫した課題を毎日学校 HP に掲載してきました。

また、家庭にそれらを受信する環境がない生徒のために、パソコン室を開放し支援を行ってきました。

さらに、学校再開後には、給食配膳のお手伝いや校内消毒のお手伝いとして、のべ8週間、254名の保護者の皆様に衛生環境の維持や円滑な授業運営にご協力をいただきました。

これからも保護者、地域の方々とともに「教育を止めない五中」を目指してまいります。

